

絵本のひろば

あひる保育園では絵本の読み聞かせを大切にしています。一日に一回は友だちと一緒に保育士の読み聞かせを楽しむ時間を設けています。読み聞かせを通して、コミュニケーションの基礎を育みます。ここでは、大まかな発育に沿った絵本を紹介し、親子で絵本を楽しんで頂ければと思います。

0歳

- 『いないいないばあ』 松谷 みよ子 文／瀬川 康男 絵
『もこ もこもこ』 谷川 俊太郎 作／元永 定正 絵
『あっぷっぷ』 中川 ひろたか 文／村上 康成 絵

「いないいないばあ」は初めて出会わせたい絵本の一つです。身近な動物がページを見開くごとに「ばあ」と顔を出してくれるので子どもが次のページを心待ちにしているのがよく分かります。

1歳・2歳

- 『ないない あった』 徳永 満理・宮沢 晴子 作
『でんしゃにのって』 とよた かずひこ 作絵

この頃になると語彙数も急激に増え、イメージする力も豊かになっていきます。擬音語、擬態語が大好きで見た事、聞いた事を絵本と重ねて「○○みたね～」と振り返るようになります。

3歳・4歳・5歳・6歳

- 『おふろだいすき』 松岡 享子 作／林 明子 絵
『かいじゅうたちのいるところ』 モーリス・センダック作／神宮 輝夫 訳
『おいしいのぼうけん』 古田 足日・田畑 精一 作
『エルマーのぼうけん』 ルース・スタイルス・ガネット 著
『ポップ・ステップ・ジャンプくん』 加藤 暁子・三好 碩也

絵本の世界と現実を行き来してイメージ力が育つ時期です。登場人物の気持ちやものの意味、文脈についての理解が飛躍的に育ち、読んだ後にちょっと言葉を添えると自分が疑問に思った事をどんどん話してくれます。